

安全情報

平成13年 9月 5日

(財) 骨髄移植推進財団
認定施設連絡責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

採取後右下腿深部静脈血栓症(DVT)となった事例について

このたび、非血縁骨髄ドナーからの骨髄採取において、重大な健康被害が発生しましたので、ご報告します。

骨髄採取後(退院後)3日目より、右下腿痛が出現し、右下腿部CT検査を施行した結果、右下腿深部に3ヶ所の血栓が認められました。

当該ドナーは、緊急入院となり、抗凝固療法(保存療法)が開始されました。

その後、腫脹疼痛は軽快、緊急入院後11日目に退院し、通院加療中です。

原因としては、採取後過度の緊張及び尿道カテーテル等の違和感で、長期間(17時間程度)右下肢を動かさない状態であったことが原因の一つと考えられておりますが、明らかな原因は特定されておらず、現在、原因究明中です。

過去、海外の骨髄採取事例において、肺塞栓症(PE)を併発し、死亡した事例が報告されていることから、ドナー安全委員会は各施設に対し、安全情報を発信し注意を促すことと致しました。

また、再発防止の観点から、腹臥位は、腹部・鼠径部を圧迫し深部静脈血のうっ帯が起き易い体位であり、これにより血栓を生じる可能性があること、術後の安静による下肢の運動不足(静脈血のうっ帯)により血栓を生じる可能性があること、を認識し、静脈血のうっ帯を最小にするよう適切なご対応をお願い申し上げます。

以上をご確認の上、お願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
(事務局 担当:折原)
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-13-12
新宿 IS ビル 8階
TEL 03-3355-5041
FAX 03-3355-5090
E-mail: orihara@jmdp.or.jp